



2005 ITU International Triathlon Event Murakami
 2005 ITU インターナショナルイベント村上大会
 2005 NTT Triathlon Japan Cup 5th Stage
 NTTトライアスロンジャパンカップ第5戦
 25 September 2005



上田藍 2 連覇。細田雄一は昨年の雪辱を果たす

2005NTT トライアスロンジャパンカップ第5戦村上大会は、ITU インターナショナルイベントとして9月25日(日)、新潟県村上市周辺特設コースで行われた。

雨の降る天候のなか午前9時30分にスタートした男子は、杉本宏樹(チームテイケイ練習生)がスイムをトップでフィニッシュすると、疋田浩気(静岡県協会)、山本淳一(K's-Y・稲毛 ITC)、長谷川裕一(東京都連合)、細田雄一(グリーンタワー・稲毛 ITC)が続いた。笹川流れへのバイクでは、徐々に集団がふくれあがり、瀬波温泉海岸のトランジションに戻ってきたときは、24名の集団になっていた。ランではそのなかから、益田大貴(湘南ベルマーレ)が飛び出すが、1kmの地点で細田が追いつき、二人のデッドヒートが始まった。城下町の村上市街を走るランで、1度目のフィニッシュ横の通過時まで益田、細田が併走。その後ラスト3kmで細田が前に出ると益田はついて行けず、細田のスパートが決まって、昨年3位に沈んだ雪辱となる優勝を果たした。3位には杉本が入った。細田は、「いっばいだったが勝ちたかったので前に出たら離すことができた。ロングスパートになったが、最後の1kmは苦しかった」と振り返った。益田は、「バイクのスピードが上がらず、身体が冷えたままランに移ったのが敗因」とコメントした。

午前9時35分スタートの女子は、古谷あかね(トヨタ車体)がスイムを最初にフィニッシュ。すぐ後ろの忽那静香(日東紅茶 TEAM KEN'S A&A)、太田麻衣子(東海大学)、中島千恵(東京都連合)らと逃げに入ったが、20kmの折り返し付近で後続が追いつき、10名の集団となった。そのままバイクからランへ移り、10名の集団のなかからランでは上田がリードを奪った。大松沙央里(トヨタ車体)、高木美里(湘南ベルマーレ)、高橋梨香(トヨタ車体)が上田を追うが、上田の快走は続き、昨年に続いて2連覇を果たした。2位は大松、3位は高橋が入った。上田は、「思い通りのレースができた。2連覇も目指していたので勝ててうれしい。来月の日本選手権では、ベテランのオリンピック選手たちに勝ちたい」と、自信にも満ちた様子で語った。大松は、「2週間前の世界選手権の疲れが残っていて、ここまで走れるとは思わなかった」とコメントした。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

